

大和証券グループ Presents

佐渡裕 指揮 / 反田恭平 ピアノ

新日本フィルハーモニー交響楽団

50周年記念演奏会



2022年5月28日[土] 16:00開演 [15:00開場]

やまぎん県民ホール 大ホール

ショパン・コンクール第2位〈反田恭平〉と魅せる、至福の競演

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調「皇帝」 作品73

1990年、佐渡裕が国内デビュー公演で新日本フィルを指揮した記念すべき1曲

ベートーヴェン：交響曲 第7番 イ長調 作品92

創立50周年を迎えた〈新日本フィル〉、次期音楽監督〈佐渡裕〉と新たな歴史を歩み始める！



New Japan Phil © K.Miura

© S.Ohsugi

© Peter Rigaud c/o Shotview Artists

チケット料金 [全席指定・税込]

S席 11,000円 / A席 9,900円 / B席 6,600円

一般発売 / 4月上旬

○ TUY先行受付
[インターネットのみ]

2月26日(土) 10:00~ TUY ライブ 検索

○ やまぎん県民ホール
先行受付 [S席限定]

2月26日(土) 10:00~3月4日(金) ※窓口販売は2月27日(日) 10:00~

○ インターネット ○ 電話：やまぎん県民ホールチケットデスク 023-664-2204

主催 = TUYテレビ山形 共催 = 山形県総合文化芸術館 指定管理者 みんなるやまがた

特別協賛 = 大和証券グループ

※お一人様4枚まで。※車いす席はS席となります。会館までお電話でご連絡ください。※未就学児のご入場はできませんのでご了承ください。
※演奏会の中止・延期の場合を除き、チケットのキャンセル・払い戻しはいたしません。



お問い合わせ

TUY テレビ山形

023-624-8109

(平日10:00~17:00)

<https://www.tuy.co.jp/contents/concert/>

やまぎん県民ホールチケットデスク

023-664-2204

(休館日を除く10:00~19:00)

<https://yamagata-bunka.jp/>

佐渡裕^{指揮} / 反田恭平^{ピアノ}

新日本フィルハーモニー交響楽団

50周年記念演奏会



© K.Miura

ダイナミックな共創

新井鷗子 | 音楽構成作家

～佐渡裕指揮/反田恭平ピアノ・新日本フィルハーモニー交響楽団

気概や愛だけでオーケストラは存続できない。しかしその純粹さを唯一の拠り所にして、新日本フィルはぎりぎり生きながらえてきた。小澤征爾のもと楽団員による自主運営のオーケストラとして誕生してから50周年。いま彼らが求めるのは、ダイナミックにパワーをぶつけ合い、新たな価値を共創していくマエストロだ。いよいよ、佐渡裕が音楽監督に就任する。佐渡が国内デビューを果たしたオーケストラが新日本フィルであり、両者は90回以上の共演で深い信頼関係を築いてきた。そして今回迎えるソリストは、コンクール入賞が人気に拍車をかけ、飛ぶ鳥を落とす勢いの反田恭平。自らのキャリアをバックキャストで設計する反田の戦略は、新時代の音楽家を感じさせる。周年、就任、入賞、三者にとってこれほど最高のタイミングが重なる時があるだろうか。ベートーヴェンの傑作でこの奇跡を祝おう。



© Takashi Iijima

佐渡裕 || 指揮 Yutaka SADO

京都市立芸術大学卒業。故レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。これまでパリ管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ケルンWDR交響楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団等欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。現在オーストリアのトーンキュンストラ管弦楽団音楽監督、兵庫県立芸術文化センター芸術監督、シエナ・ウインド・オーケストラの首席指揮者を務める。CDリリースは多数あり、最新盤はトーンキュンストラ管弦楽団を指揮した17枚目のCD「ブラームス:交響曲第2番 / ハイドンの主題による変奏曲」を2021年8月にリリース。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」(新潮文庫)、「棒を振る人生～指揮者は時間を彫刻する～」(PHP文庫 / 新書)など。2022年4月より新日本フィルハーモニー交響楽団ミュージック・アドヴァイザー、23年4月より同楽団音楽監督に就任が決定している。

オフィシャルファンサイト <http://yutaka-sado.meetsfan.jp>



反田恭平 || ピアノ Kyohei SORITA

2021年第18回シヨバン国際ピアノコンクールで日本人として半世紀ぶりの第2位を受賞。

2016年のセンセーショナルなデビュー・リサイタル以降、毎年定期的にリサイタルやオーケストラとのツアーを全国で行なっている。2018年からは室内楽や自身が創設したジャパン・ナショナル・オーケストラのプロデュースも行っており、2021年5月にはオーケストラのための新会社を立ち上げ、奈良を拠点に世界にむけて活動を開始した。2019年にはイープラスとの共同事業でレーベルを立ち上げ、2020年のコロナ禍ではいち早く有料のストリーミング配信を行うなど、クラシック音楽の普及にも力を入れている。また海外での活動も増え、2020年1月にパリ、10月にはウィーン楽友協会デビューを果たし現地の観客から称賛を得ている。若手の音楽家とファンの皆さんを繋ぐコミュニケーションの場となるような音楽サロン「Solistiade」も運営している。2014年チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院を経てF.シヨバン国立音楽大学(旧ワルシャワ音楽院)研究科に在籍。

オフィシャルHP <https://www.kyoheisorita.com> オンラインサロンSolistiade <https://solistiade.jp/>

新日本フィルハーモニー交響楽団 New Japan Philharmonic

1972年、指揮者・小澤征爾のもと楽員による自主運営のオーケストラとして創立。97年、すみだトリフォニーホールを本拠地とし、日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会や特別演奏会の他、地域に根ざした演奏活動も精力的に行う。99年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任。2003年～13年、クリスティアン・アルミンクが音楽監督、10年～16年、ダニエル・ハーディングがMusic Partner of NJP、13年よりインゴ・メツツマッハーがConductor in Residenceに就任。16年～21年、上岡敏之が第4代音楽監督を務めた。受賞歴に三菱信託音楽賞奨励賞、三菱UFJ信託音楽賞、ミュージック・ベンクラブ音楽賞等。

また、04年に音楽家・久石譲と立ち上げた「新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ」で幅広い人気を集め、映画「千と千尋の神隠し」「ハウルの動く城」「崖の上のポニョ」では管弦楽を担当。22年には創立50周年を迎え、様々な記念演奏会を開催、同年佐渡裕がミュージック・アドヴァイザーに就任予定。

公式ウェブサイト:www.njp.or.jp 公式ツイッター:@newjapanphil 公式Facebook:/newjapanphi 公式Instagram:/newjapanphil